



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月8日
東

上場会社名 リズム時計工業株式会社 上場取引所
 コード番号 7769 URL <https://www.rhythm.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平田 博美
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 荒井 雄司 (TEL) 048-643-7241
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	14,305	△6.5	10	△96.8	80	△79.6	△110	—
2019年3月期第2四半期	15,304	△3.3	320	△2.8	395	2.9	102	△46.3

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △547百万円(—%) 2019年3月期第2四半期 760百万円(110.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	△13.36	—
2019年3月期第2四半期	12.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	38,607	27,210	70.5
2019年3月期	39,812	28,007	70.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 27,210百万円 2019年3月期 28,007百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2020年3月期	—	0.00			
2020年3月期(予想)			—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,000	△6.5	△100	—	0	—	△400	—	△48.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	8,385,093株	2019年3月期	8,385,093株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	123,811株	2019年3月期	123,325株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	8,261,595株	2019年3月期2Q	8,262,817株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント)	11
(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日)における世界経済は、緩やかな景気回復が続いたものの、米中の通商問題を巡る緊張の増大、中国経済の停滞、英国のEU離脱問題等、不確実性がより高まる状況が続きました。

一方、わが国経済は、景気は緩やかな回復基調が続いていますが、通商問題や中国経済減速の影響を受け、設備投資の減少や生産への影響が見受けられました。

このような状況のもと、当社グループは、2019年4月よりスタートした中期経営計画の実現に向け、収益力強化の取り組みを推進しております。売上高につきましては、設備投資や自動車関連部品の受注減少により、これまで牽引してきました接続端子事業およびプレジジョン事業が減収、時計事業も国内外で売上が伸びず全体で減収となりました。営業利益につきましては、時計事業は改善が見られるものの未だ営業損失、接続端子事業、プレジジョン事業、電子事業も受注減少の影響が大きく、全体で減益となりました。

以上のことから業績は次のとおりとなりました。

(単位：百万円)

		2019年3月期 第2四半期 連結累計期間	2020年3月期 第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	時計事業	4,418	4,179	△239	△5.4%
	接続端子事業	4,800	4,511	△288	△6.0%
	プレジジョン事業	3,262	2,817	△444	△13.6%
	電子事業	2,624	2,625	0	0.0%
	その他	198	170	△28	△14.2%
	計	15,304	14,305	△999	△6.5%
営業利益又は営業損失(△)	時計事業	△249	△230	19	—
	接続端子事業	402	331	△70	△17.5%
	プレジジョン事業	378	186	△191	△50.6%
	電子事業	4	△50	△54	—
	その他	29	23	△5	△19.4%
	調整額	△244	△252	△7	—
	計	320	10	△310	△96.8%
経常利益	395	80	△314	△79.6%	
親会社株主に帰属する 四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	102	△110	△212	—	

これらをセグメント別に見てみますと次のとおりであります。

① 時計事業

時計事業におきましては、国内では、モバイルファンや防災行政無線等の非クロック分野は前年と比べて増加しておりますが、クロック市場の縮小及び百貨店、ギフト店での売上減少により減収となりました。

海外では、好調だった米国のインターネット販売の売上減少により、減収となりました。利益面につきましても、中国およびベトナム工場の原価率の悪化、およびベトナム工場からの撤退に伴い発生した費用等により営業損失となりました。

これらの結果、時計事業全体では減収、営業損失となりました。

② 接続端子事業

接続端子事業におきましては、国内では、自動車や電機機器をはじめとして全般的な受注減少により減収となりました。利益面につきましては、受注減少により減益となりました。

海外では、中国での空調向け部品、東南アジアでの自動車や二輪向け部品の受注が減少し、減収となりました。利益面につきましては、受注減少及び設備投資による費用増加等により減益となりました。

これらの結果、接続端子事業全体では減収減益となりました。

③ プレシジョン事業

プレシジョン事業におきましては、国内では、プラスチック塗装事業が好調に推移しましたが、米中通商問題の影響を大きく受けた工作機械部品及び自動車関連部品の受注減少により、減収となりました。利益面につきましては、受注減少により減益となりました。

海外では、ベトナム及び中国の受注停滞により、減収となりました。利益面につきましては、ベトナムでは、製品構成の変化や合理化の効果等で増益となりましたが、中国の受注減少の影響で減益となりました。

これらの結果、プレシジョン事業全体では減収減益となりました。

④ 電子事業

電子事業におきましては、国内では、自動車関連製品の受注が好調に推移しましたが、情報機器及びEMS製品の受注減少により減収となりました。利益面につきましては、受注減少及び原価率の悪化等により、営業損失となりました。

海外では、ベトナムのEMS製品が好調に推移し、増収となりました。利益面につきましては、中国およびベトナム工場の原価率の悪化等により営業損失となりました。

これらの結果、電子事業全体では増収、営業損失となりました。

⑤ その他

その他事業につきましては、物流子会社における受注拡大により増収増益となりましたが、物流以外の事業が低調に推移し、全体では減収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

総資産は386億7百万円となり、前連結会計年度末398億12百万円に比べて12億5百万円減少しました。流動資産は、受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べ20億57百万円減少しました。固定資産は、有形固定資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ8億51百万円増加しました。

(負債)

負債合計は113億96百万円となり、前連結会計年度末118億5百万円に比べ4億9百万円減少しました。流動負債は、1年内償還予定の社債の増加等により前連結会計年度末に比べ16億97百万円増加しました。固定負債は、社債の減少等により、前連結会計年度末に比べ21億7百万円減少しました。

(純資産)

純資産合計は、272億10百万円となりました。為替換算調整勘定の減少等により前連結会計年度末280億7百万円に比べ7億96百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予測につきましては、2019年5月15日に公表した内容から変更しております。

当該業績予想の修正につきましては、本日(2019年11月8日)公表の「2020年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績値との差異及び2020年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,128	9,414
受取手形及び売掛金	5,432	4,738
電子記録債権	1,695	1,528
有価証券	1,000	—
たな卸資産	7,441	7,814
その他	526	659
貸倒引当金	△488	△475
流動資産合計	25,736	23,679
固定資産		
有形固定資産	8,431	9,914
無形固定資産		
のれん	1,098	919
その他	398	370
無形固定資産合計	1,497	1,289
投資その他の資産		
投資有価証券	2,387	2,109
その他	1,860	1,710
貸倒引当金	△100	△97
投資その他の資産合計	4,147	3,722
固定資産合計	14,076	14,927
資産合計	39,812	38,607
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,375	3,236
短期借入金	328	480
1年内返済予定の長期借入金	47	46
未払法人税等	257	160
賞与引当金	232	217
役員賞与引当金	10	—
1年内償還予定の社債	—	2,000
その他	1,368	1,176
流動負債合計	5,620	7,317
固定負債		
社債	5,000	3,000
長期借入金	42	18
退職給付に係る負債	723	680
その他	419	379
固定負債合計	6,185	4,078
負債合計	11,805	11,396

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,372	12,372
資本剰余金	7,584	7,584
利益剰余金	6,247	5,889
自己株式	△273	△274
株主資本合計	25,931	25,573
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	480	320
為替換算調整勘定	1,505	1,225
退職給付に係る調整累計額	89	92
その他の包括利益累計額合計	2,075	1,637
純資産合計	28,007	27,210
負債純資産合計	39,812	38,607

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	15,304	14,305
売上原価	11,672	11,166
売上総利益	3,632	3,138
販売費及び一般管理費	3,311	3,127
営業利益	320	10
営業外収益		
受取利息	3	5
受取配当金	67	53
受取賃貸料	92	167
信託収入	63	—
その他	36	30
営業外収益合計	264	257
営業外費用		
支払利息	22	21
出向費用	62	60
賃貸費用	27	80
信託費用	31	—
為替差損	31	14
その他	13	9
営業外費用合計	190	186
経常利益	395	80
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	—	53
特別利益合計	0	54
特別損失		
固定資産処分損	27	22
固定資産売却損	4	—
減損損失	—	12
特別損失合計	31	34
税金等調整前四半期純利益	364	99
法人税、住民税及び事業税	287	176
法人税等調整額	△25	33
法人税等合計	261	210
四半期純利益又は四半期純損失(△)	102	△110
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	102	△110

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	102	△110
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28	△160
為替換算調整勘定	570	△280
退職給付に係る調整額	59	3
その他の包括利益合計	657	△437
四半期包括利益	760	△547
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	760	△547

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	364	99
減価償却費	587	487
減損損失	—	12
のれん償却額	164	160
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3	△2
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	40	△24
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	1	9
賞与引当金の増減額(△は減少)	38	△15
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△17	△10
受取利息及び受取配当金	△71	△59
支払利息	22	21
為替差損益(△は益)	2	△2
固定資産処分損益(△は益)	27	22
固定資産売却損益(△は益)	4	△0
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△53
売上債権の増減額(△は増加)	424	783
たな卸資産の増減額(△は増加)	△536	△453
仕入債務の増減額(△は減少)	204	△77
未払消費税等の増減額(△は減少)	△36	△21
その他の資産の増減額(△は増加)	187	△123
その他の負債の増減額(△は減少)	△40	△257
小計	1,363	495
利息及び配当金の受取額	70	59
利息の支払額	△22	△21
法人税等の支払額	△369	△228
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,041	304
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	—	1,000
有形固定資産の取得による支出	△1,150	△2,032
有形固定資産の売却による収入	8	10
無形固定資産の取得による支出	△32	△16
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却等による収入	—	155
貸付金の回収による収入	3	2
その他	69	51
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,102	△829

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	143	160
長期借入金の返済による支出	△224	△22
自己株式の取得による支出	△1	△0
自己株式の売却による収入	—	0
配当金の支払額	△247	△247
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△330	△112
現金及び現金同等物に係る換算差額	181	△77
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△210	△714
現金及び現金同等物の期首残高	9,497	10,128
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,286	9,414

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	時計事業	接続端子 事業	プレジジョン 事業	電子事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,418	4,800	3,262	2,624	15,105	198	15,304
セグメント間の内部 売上高又は振替高	16	2	39	7	64	335	400
計	4,434	4,802	3,301	2,632	15,170	534	15,705
セグメント利益 又は損失(△)	△249	402	378	4	536	29	565

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	536
「その他」の区分の利益	29
セグメント間取引消去	10
全社費用(注)	△223
棚卸資産の調整額	△31
四半期連結損益計算書の営業利益	320

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	時計事業	接続端子 事業	プレジジョン 事業	電子事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,179	4,511	2,817	2,625	14,134	170	14,305
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	4	32	7	51	323	374
計	4,186	4,516	2,850	2,632	14,185	493	14,679
セグメント利益 又は損失(△)	△230	331	186	△50	238	23	262

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	238
「その他」の区分の利益	23
セグメント間取引消去	△5
全社費用(注)	△243
棚卸資産の調整額	△3
四半期連結損益計算書の営業利益	10

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)
該当事項はありません。